

知立市における「彫刻のあるまちづくり」展開手法

(1)事業形式・運営体制

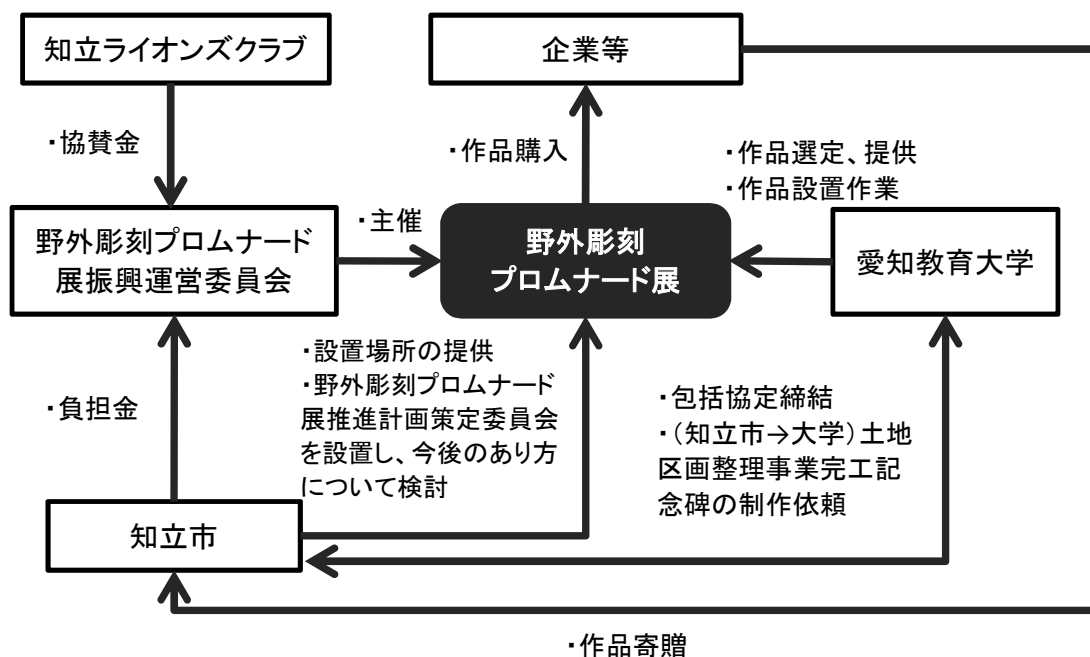
- ・ 毎年「野外彫刻プロムナード展」を開催するための振興運営組織として、市の外部組織である「野外彫刻プロムナード展振興運営委員会（以下「振興運営委員会」）を設置（平成13年9月4日）して実施している。従って主催は市ではなく、振興運営委員会となっている。
- ・ 市は毎年設置する展示作品について、買取りや謝礼は行っていない。
- ・ 仮設作品の設置工事費やパンフレット制作費は、振興運営委員会の事業費で賄っている。
- ・ 仮設作品の選定や設置作業は、愛知教育大学の宇納教授を中心としてボランティアで実施している。
- ・ 仮設作品は、展示終了後、購入することができる。
常設作品は、最初に設置した作品（IMOMUSHI）のみ振興運営委員会で購入・設置を行い、市に寄贈された。その後、企業等による購入・設置及び市への寄贈（ハッケヨイ、かばのもわもわ、時のかたりべ、風の門）が4点あったほか、区画整理事業完工記念碑として7点を市の事業費（約700万円※）によって購入・設置した。
※作品設置及び周辺修景工事費含む。作品自体は50万円以下。
- ・ 常設作品は、5点が野外彫刻プロムナード展展示作品（IMOMUSHI、ハッケヨイ、かわのもわもわ、童一空想と思案一、時のかたりべ）、7点が新規制作作品である。
- ・ この他、企業が野外彫刻プロムナード展展示作品を買取り、企業敷地内に設置した作品が2点（石曼荼羅、空）ある。

(2) 予算規模

- ・ 毎年、知立市が15万円、知立ライオンズクラブが14万円を振興運営委員会に出資してきた。

(3)設置場所

- ・ 毎年開催する「野外彫刻プロムナード展」の会場は知立市文化会館（パティオ池鯉鮒）のエントランスロードである。
- ・ 常設作品は、１１作品が公園や遊歩道に設置され、１作品（時のかたりべ）は福祉の里八ツ田に設置されている。



野外彫刻プロムナード展 関連彫刻設置図



○ 知立市が保険を掛けている作品

● プロムナード委員会が保険を掛けている作品